



わたしたちの
SDGs

タブロス 株式会社

秋田市で創業70年を迎えたタブロス株式会社。LPガスの販売を主軸とし、灯油や天然水宅配、発電・電力販売事業、住宅設備機器の販売など暮らしに密着したサービスを幅広く提供している。エネルギーの持続可能性に向けた取り組みについてお話を伺った。



代表取締役社長 さとう ひろき 佐藤 寛樹

〒011-0901

秋田市寺内字後城322-3

TEL. 018-845-1141

<https://www.tapros.co.jp/>



HP

県民の暮らしを支え、寄り添う事業を展開

秋田市に本社を置き、県内に5つの支店・営業所を持つタブロス株式会社。昨年2月に代表取締役社長に就任した佐藤寛樹さんにお話を伺った。

「当社ではLPガスのほか、灯油や電気、飲料水の4つのライフラインを提供し、皆様の毎日の暮らしを支えています。LPガスや灯油といった、地球エネルギーを通じたサービスを行っていることもあり、社会への奉仕と環境の保全へ取り組んできました」。

創業60周年を機に新規事業に着手。社員から意見を募った結果、現在コインランドリー事業を展開している。

「コインランドリーの熱源にはLPガスを使用するため、自社のサービスとの親和性もあります。第1号店である由利本荘市の店舗にはカフェを併設しています。地域の皆さんに親しんでもらえるように、そして地域のコミュニティの場を提供したいという想いから実現したものです」。

CO2排出量実質ゼロで環境配慮を実現

LPガスは、他の化石燃料と比較するとCO2排出量が少ないが、CO2を排出するという事実には変わりはない。そこで同社では、環境への配慮を実践するため、国が推進する「J-クレジット」を活用したカーボンオフセットの取組を始めた。

「LPガスを燃焼させたときに排出するCO2量のクレジットを購入することでカーボンオフセットLPガス（以下、COLPG）として供給するサービスを令和5年から始めています。ここ数年で、地球温暖化や環境破壊による暮らしへの影響が目に見えて深刻化しています。この状況に対し多くの企業や経営者にアクションを起こさなければという意識も芽生えており、徐々にCOLPGの需要も増えていると感じています」。

COLPGは価格が高いと言われるが、社会や環境にもたらすメリットを考えると高いなりの価値があるのだと佐藤さんは語る。現在は法人向けのサービスだが、将来的には個人宅への提供も検討していく方針だ。



本社近くにあるガスの充填所。



本社敷地内に設置された垂直型の太陽光パネル。ここで発電した電気は、事務所で活用している。



秋田市に開設したコインランドリー「LAUNDRY たぶろんハウス」2号店。